

むすびえ 「こども食堂・学校架け橋プロジェクト」事業報告

2025（令和7年）5月12日

**帯広農業高校生が作った小麦で  
本格ピザを作ってみよう！**

十勝こども食堂・地域食堂ネットワーク  
北海道立帯広農業高等学校

北海道帯広農業高等学校

帯農

# SCHOOL GUIDE



農業科学科



酪農科学科



食品科学科



農業土木工学科



森林科学科

北海道帯広農業高等学校



## 農業科学科

未来の農業を輝かせるのは君だ！  
新規就農も目指せる！！

日本一広大な農場で約30種類以上の作物や野菜を専門的に学ぶ学科です。スマート農業を活用した管理でGAP認証作物の栽培やハウスを使った果菜類などの集約栽培を専門的に学習できます。

POINT

### (WORKS) 農業科学科で学ぶこと

農業と環境

農業の基礎をカボチャ栽培やナガイモ栽培を通して実践的に学びます。

野菜

メロン・トマト・スイートコーンなどの学習を通して、野菜生産に必要な知識・技術を学びます。

作物

ジャガイモ・ダイズ・コムギなど地域の基幹作物の栽培を通して知識や技術・実践力を学びます。

農業経営

様々な経営方法を学び、農業を営む上で必要になる基礎・基本を学びます。

農業機械

GPSトラクタ等のスマート農業から、機械の構造や運転操作に関する基礎的な知識・技術を学びます。

課題研究

各班に分かれて地域農業の課題に取り組みながら、解決に向けて知識と技術を学びます。

農業科学科では

広大な農場で  
野菜や作物などを  
専門的に



農業科学科3年  
(北海道帯広市立上富良野中学校出身)

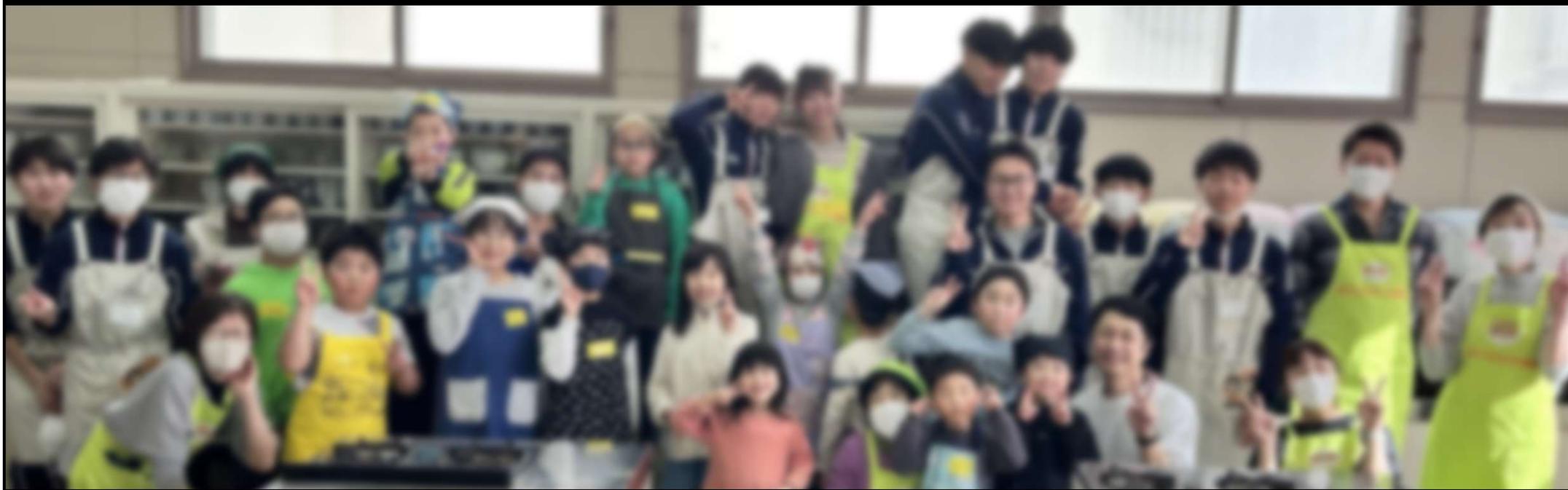
山崎直也先生より





# 小麦で地域を活性化 地域を繋ぐ学校架け橋プロジェクト

北海道帯広農業高等学校





# 北海道帯広農業高等学校



BANDAI CHANNELより引用

# 農業科学科



# 酪農科学科



# 食品科学科



# 農業土木工学科



# 森林科学科





生徒の半数が後継者

# 北海道

# のリーダー



三野宮 穂

# 1 きっかけ・取り組みの目的



# 1 きっかけ・取り組みの目的

- ① 子ども達に**十勝の農業や食文化に親しむ機会**を提供したい
- ② **食を通じたコミュニケーション**を創出したい
- ③ **地域の繋がり・食料生産・農業の社会的意義**を**体験的に理解、農業人としての姿**を考える



## 2 実施内容・生徒の変化



第1回

世農×こども食堂



2実施内容・生徒の変化



# 手打ちうどん体験





# 驚きと発見



# 2実施内容・生徒の変化





## 2実施内容・生徒の変化



子ども食堂＝貧困というイメージ



子どもの居場所  
地域の繋がり





第2回

世帯農×こども食堂

## 2実施内容・生徒の変化

Q. 高校生は優しく教えてくれましたか？

n=16



■ はい  
■ いいえ

## 2実施内容・生徒の変化

Q. また、高校のイベントに参加したいですか？

n=16



■ はい  
■ いいえ



# 2実施内容・生徒の変化



## 参加者コメント

今日のイベントにさんか参加した感想かんそう (感じたことやおもおもったこと)を自由じゆうに書かいてください。

お兄さんと話したりしてたのしかたです。

# 3 今後の展望



### 3 今後の展望



- ① **他学科との連携を図り**、学校で生産・製造した食べ物で子ども食堂を開催
- ② 多くの生徒に子ども食堂や地域の現状や課題に興味や関心を持たせ、**地域の絆づくりの輪を広げる**



# コンセプト 概要

高校生にとっては、自分たちが作った食材がどのように料理されて人々の口に入るのかその過程、その場を体験することは近い将来農業を生業とするときの視座を高めてくれることに繋がる。

“本格”ピザを作るためにプロの料理人にそのコツを教わり、それをこどもたちに伝授する。高校生には年長者としての自覚や思いやり、子どもたちにとっては、高校生への憧れや尊敬、農業への関心が高めることに繋がると思われる。

高校生の事前学習として、こども食堂の現在、私たちが大切にしていることなどを伝えることで、こども食堂への理解を深めてもらい、事後学習では今考える理想のこども食堂について意見交換する。

## <実施①>

「こども食堂」事前学習

## <実施②>

シェフに学ぼう、本格ピザ

## <実施③>

おびひろ子ども食堂

## <実施④>

ふりかえり

# うどん作り子どもと交流

## 「小麦で地域活性化」目指す

### 帯農高農業科

帯広農業高校(佐藤裕一校長、生徒549人)の農業科学科小麦分会は25日、帯広市内のボランティア団体WEWとかち(渡辺久恵、若菜順共同代表)の「おびひろ子ども食堂」と連携し、手打ちうどん作りを体験した。会場となった帯広市内のとかちプラザには、管内の小中学生約20人が訪れ、調理後にはみんなうどんを味わった。  
(菊地青葉)



手作りのうどんや天ぷらを味わう参加者ら

同分会(渡部悠斗分会長)の持続可能な地域農業・地域社会づくりを目指す取り組み「小麦で地域を活性化!」とかち、の「かち」を高めたい!の一環。3年間を通じた活動で、今年が1年目。今回の体験会では学校で栽培した小麦「きたほなみ」を使用した。分会からは3年生7人が参加し、子どもたちに作り方を指導。子どもたちと一緒に小麦を手でこねるところから調理を進め、「手のひらで押すようにこねてみて」などと声を掛けていた。空き時間には、農業や小麦に関するクイズも実施。調理後は子ども食堂に寄付された野菜を使い、ボランティアらが作った天ぷらなどと一緒に味わった。

参加した小学2年生の男児は「こねるのが楽しかった。ちょっと硬いけどおいしい」と笑顔。渡辺代表は「初めて作るという子どもたちが多く、楽しみながら作ることができたのは、高校生と触れ合う機会

渡部分会長(18)は「外部と協力して行う初の取り組み。小麦や食の大切さを伝えることができたと思う」と話した。今後は、高齢者福祉施設などでも同様の体験会を開く予定。



**<実施①>  
「こども食堂」事前学習**

## こども食堂ってどんなところ？

1. こども食堂のイメージ教えて
2. こどもの第3の居場所とは？
3. これまでの第3の居場所づくり
4. おびひろ子ども食堂のスタート
5. コロナ禍を経て  
おびひろ子ども食堂@広小路
6. たべる・まなぶ・あそぶ  
風の子めむろ・学習支援の居場所歩歩
7. こども食堂の広がり
8. これからのこども食堂

## こども食堂の イメージ教えて

- 貧困層の子どもがくる
- 片親の子どもが来る
- 無料でご飯が食べられる
- 食べるものがない子どもたちへご飯を提供している
- 学童保育みたいに子どもが集まる場所
- 子どもたちとコミュニケーションをとる
- 不登校の子どもたちに居場所を作ってあげることによって、子どもたちを助ける
- ボランティア活動
- 小さい子どもたちへあまりできないことをさせてあげる
- みんなでおいしいご飯を食べて温かい気持ちになる
- 障害を持っている子、家庭環境に問題がある子どもたちが食事などの交流を通して楽しく過ごせる場所
- 学校になじめない子どもなども楽しく交流が出来る
- こども食堂が分からないのでイメージがない

第2回 とがち・おびひろ  
3min  
映画祭

作品募集 締め切り 2014 9/30(火) 必着

発見 + 十勝 + 街・ひと

- ・日常で見つけた楽しい・オモシロイ・オドロキの“十勝”を動画で。
- ・静く瞬間や風景の写真をスライドショーで。
- ・チームで個人で、ストーリーのある作品やコマーシャル作品を。

皆様のご応募をお待ちしております。  
 <応募条件は■3分以内■十勝で撮影したもの■中学校卒業年齢以上>

👑 グランプリ 賞金5万円  
 👑 オーディエンス賞 賞金1万円

映画祭上映会 12月7日

応募先 お問い合わせ  
 とがち・おびひろ3min映画祭  
 〒080-8799 帯広郵便局留  
 Mail: gunguntokachi@hotmail.co.jp  
 URL: http://npo4thome.web.fc2.com/

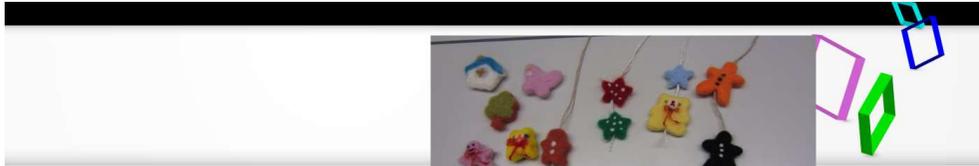
スタッフ8名  
 とがち・おびひろ3min映画祭ではお手伝いしてくれる方と一緒に映画祭を賑やかに盛り上げていきます。  
 主催: NPOふらっとホーム 群々かふえ 後援: 帯広市(市民)

不登校なう  
~居場所を求める私たち~

不登校になるまでは、  
学校に行くのが当たり前で思ってた。

僕は僕でよかった  
フリースクール東京シュレの25年

東京シュレ





全国こども食堂支援センター「むすびえ」全国交  
流会

2019年2月11日

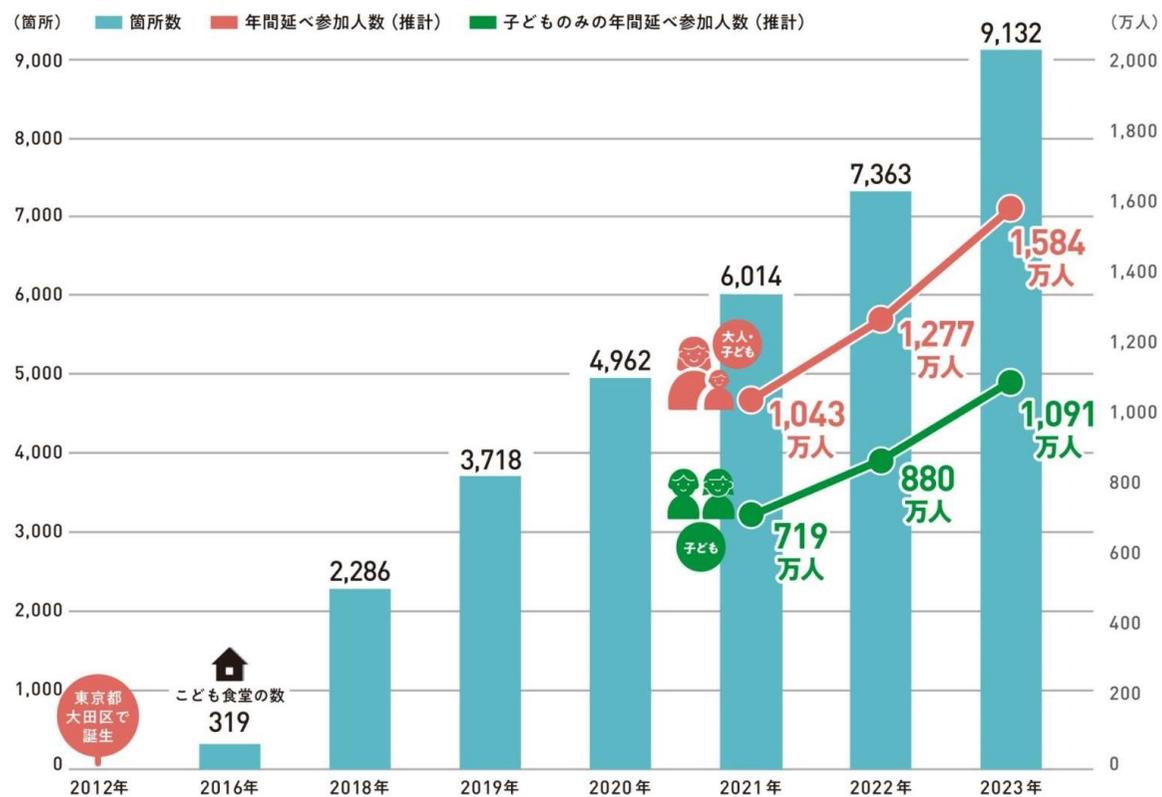


2023年6月3日

109名参加



## こども食堂の箇所数と年間の べ参加人数（推計）の推移 （2023年度 確定値）



2018年以降は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ、2016年は朝日新聞調べ

# ご寄付・ご支援いただいた企業・団体のみなさま

7 musubie Annual Report 2022

## ご寄付・ご支援いただいた企業・団体の皆さま

むすびえの「誰も取りこぼさない社会を目指した社会活動」へ共感していただいた、多くの企業・団体の皆さまからご寄付・ご支援をいただきました。おかげさまで全国の子ども食堂へさまざまな支援を届けることができています。本当にありがとうございます。

資金支援	FamilyMart	AEON	maruetsu	ワルハ	三菱商事
	docomo	RM JAPAN FOUNDATION	DJDO 大同生命保険株式会社	PICTET	natural science
	東京食品・食文化振興財団	STARBUCKS	11	Takara standard	株式会社 高遠
	CBIC	AKAGI	杏林堂	Tokyofm	LIFE PLAZA PARTNERS
	Daiichi Kasei	House	T&E	あおぞら銀行	富士住建
	FJK会	BULLDOG	KPMG	ソフトバンク	イートヨーカドー
	日本赤十字社	WellGo	レディ	熊谷組	AINet
	Unilever	TOYOSHIMA	一般社団法人 田代基金	森永乳業	三和化学研究所
	JMT	八工工業株式会社	Givaudan	JAIC	あいあいニッセイ和研保
	APPLIED MATERIALS	SAZAIIE 株式会社	東京労働者 福祉基金協会	株式会社 松田商会	タチ工業株式会社
LION	Universal	NEWLD	一創	and more!	
物資支援	読売東京七代会・読売新聞東京本社	ランドバウ愛知	資生堂ジャパン 株式会社	STARBUCKS	amazon
	全農	AEON	Zenyaku	日本精工工業	j-milk
	Tarami	AIMEDIA	神戸物産	VEGHEET	協同乳業株式会社
	JACCS	ALIA	LION	ハウス食品グループ	RALPH LAUREN
	MTG	H&K	共同船舶	Hisense	アライマ オイルの乳製菓 POWDER
	Juran System Care	日本くすもの食品	セントラル硝子	おしごと はくぶつ	AVA
	Takara standard	アリスオヤマ	三菱商事ライフサイエンス	magicnumber	AIAbout Life Marketing
	TAKARA TOMY	Ore Ida	MORINAGA	and more!	
	JANPIA	あいらい 子育て支援	AstraZeneca	ノーブ すこやかこども 財団	日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION
	三和化学工業株式会社	YAHOO! JAPAN 基金	MCF	and more!	

助成金

©リビングアニアニティ協会「ALIA子ども応援プロジェクト」賛同企業 TOTO株式会社 / 株式会社LIXIL / 大塚がく株式会社 / 三井住友銀行株式会社アドバンス社  
 AGC株式会社 / AGCテクノグラス株式会社 / 株式会社田園工業所 / 大塚工業株式会社 / マナッシュテクノロジーソリューションズ株式会社 / YKK AP株式会社  
 パナソニック株式会社空質空調社 / パナソニック エコシステムズ株式会社 / 新コスモス電機株式会社 / 株式会社リーフ / リンナイ株式会社 / 株式会社パロマ

他にも多くの企業・団体から多大なるご支援をいただきました。詳細はホームページをご覧ください。



## 授業を終えて

- ・さまざまな場所でこども食堂が行われていることが分かった
- ・サポートできることがあればしていきたい
- ・こども食堂のイメージが大きく変わった
- ・僕は将来帯広の地域活性化に貢献できる仕事をしたいと思っているのでこども食堂も同じように盛り上げたい
- ・社会とのつながりが大切。実現することが大切だと思った。
- ・増えてほしい。自分も参加したいと思った。
- ・1円ももらわず運営しているのがすごい。
- ・子どもたちが喜んできてコミュニケーション力をつける、こども食堂のすごさに驚いた。
- ・栄養士を目指しているので子供の栄養もしっかり考えたい
- ・将来はこども食堂にかかわっていきたい
- ・自分が農業経営者になってもこども食堂に何か協力できるようにしたい
- ・自分がどういう農業をしていかなければならないかわかった



**<実施②>  
シェフに学ぼう、本格ピザ**



## 満寿屋商店

むぎおと  
麦音



十勝産100%へのこだわり

地域の食材を地域の為に麦音のパ

ンは全てが十勝産小麦100%。そ

の他にも十勝産にこだわった食材

を使用しています。より美味しく

よりご満足いただけるよう「地産

地消」をテーマに、日々パン作り

に励んでいます。





**<実施③>  
おびひろ子ども食堂**

帯広農業高生が育てて収穫した小麦粉でピザを作ろう！



帯広農業高校

農業科学科小麦分会

×

おびひろ子ども食堂

1月26日(日)

10:00~13:00

帯広農業高校 調理室

(帯広市稲田町西1-9)

小・中学生 参加無料

定員 20人(予約制)

※定員の都合上、子どものみの参加となりますが、保護者の同伴が必要な方はご連絡ください。



満寿屋パンの方から  
ピザ作りの技を伝授された  
高校生と一緒に作ります！

■お申込方法

[wewtokachi@yahoo.co.jp](mailto:wewtokachi@yahoo.co.jp) までメールでお申込みください。

件名に「子ども食堂」、

本文に①参加者氏名(保護者同伴の場合は保護者名も)

②学年、③保護者名、④保護者連絡先(携帯)をご記載ください

※中学生は本人の連絡先でもOKです。(保護者名不要)

お申込みはコチラから



■持ち物:三角巾・エプロン・上履き

■生徒玄関からお入りください。

■保護者の方へのお願い

・農業高校生徒の方々とはピザを作ります。年齢によりできることを楽しく調理します。

・食中毒予防等のため、食事は持ち帰りできません。

・食物アレルギーに配慮したメニューは対応していません。

・食事後、13:00ころ終了を予定しています。低学年のお子様は調理室までお迎えをお願いします。

■お問合せ:WEWとかち Mail:[wewtokachi@yahoo.co.jp](mailto:wewtokachi@yahoo.co.jp)  
Tel:090-9538-8506(渡辺)



主催:WEWとかち 協力: 帯広農業高等学校

▶▶WEWとかちLINE  
活動のご案内などを発信





高校生、子どもと  
ピザ作りで交流

こども食堂ネット  
帯農と連携企画

「十勝」こども食堂・地域  
食堂ネットワーク」と帯広  
農業高校の連携企画「帯広  
農業高校生が作った小麦粉  
で本格ピザを作ってみよ  
う」が26日、同校で開かれ  
た。農業科学科の2、3年  
生の9人が、帯広市内のこと



も食堂を利用する小中学生  
ら18人と交流しながらピザ  
作りを教えた。  
同企画は「NPO法人全  
国こども食堂支援センター  
・むすびえ」（東京）の委  
託事業「こども食堂・学校  
架け橋プロジェクト」の一  
環。こども食堂と学校との  
協働を通して、こども食堂  
の活動への理解や共感を醸  
成し、地域課題を「自分事  
化」する子どもたちを育む  
ことが目的。同ネットワー  
クの若菜順代表が応募し  
た。  
企画は3回にわたり行わ

れ、生徒は昨年10月に若菜  
代表からこども食堂につい  
て学び、同12月に満寿屋商  
店麦音の職人からピザ作り  
を教わった。  
最終回の今回は生徒が小



中学生らと一緒に生地を作  
り、トッピングし焼き上げ  
た。高校生がゲームも準備  
し、調理室には子どもたち  
の笑い声が響いた。

3年生の渡部悠斗さん  
(18)は「こども食堂の取  
り組みについて学んだこと  
生かして、将  
来は農業と関  
われる仕事に  
就きたい」と  
新たな視点を  
得た様子だっ  
た。

若菜代表は  
「地域活動の  
担い手として  
の意識が育  
ち、社会へ目  
が向けば」と  
期待した。

(高井翔太)

高校生とピ  
ザ作りを楽  
しむ小学生  
ら

A wide landscape of a field with a path leading to a horizon under a cloudy sky. The foreground is filled with tall, green grasses. A path of lighter-colored earth or gravel winds through the field towards the horizon. The sky is overcast with grey clouds, and the overall lighting is somewhat dim, suggesting an overcast day.

**<実施④>  
ふりかえり**



むすびえ ども食堂・学校架け橋プロジェクト@帯広農業高校  
アンケートのお願い

今日のピザづくり、お疲れさまでした。帯広農業高校の先生方やみなさん、そして地域の企業「海寿屋」さまの協力を得て12月からこれまで3回に分けてこのプロジェクトを進めてまいりました。ご協力ありがとうございました。

このプロジェクトの成果を今後の全国の「ども食堂」の活動に生かしてまいりたいと思います。つきましては、みなさんの感想を下のQRコードを読み取りGoogleフォームのアンケート(全6問)でぜひお聞かせください。

ご回答をお待ちしております。締め切りは1週間後の**2月2日(日)**とさせていただきます。よろしくお願ひします。

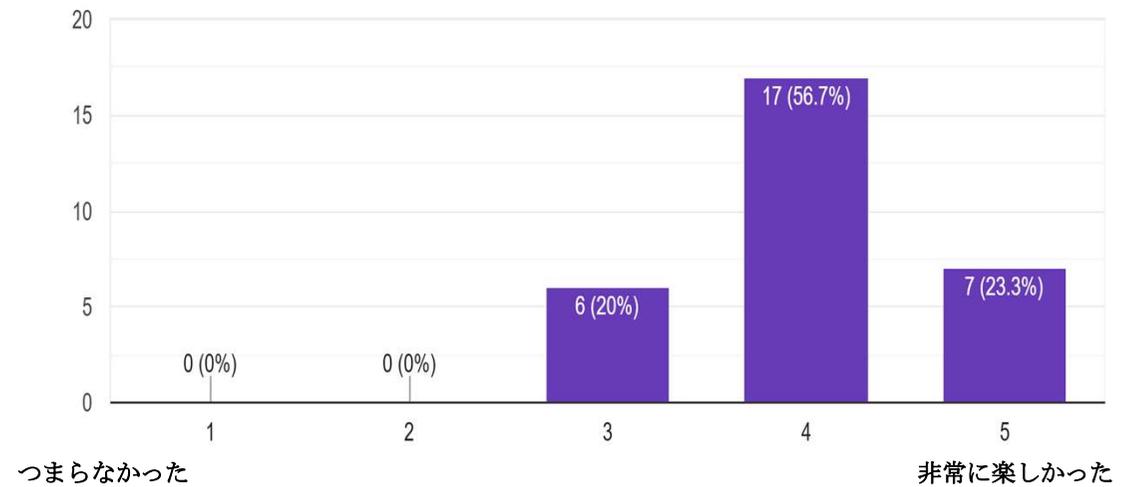


2月からは進路へ向けての準備にお忙しいことと思いますが、お体にお気をつけて頑張ってください。



## 最終アンケート結果

1. このプロジェクトに参加した感想を教えてください



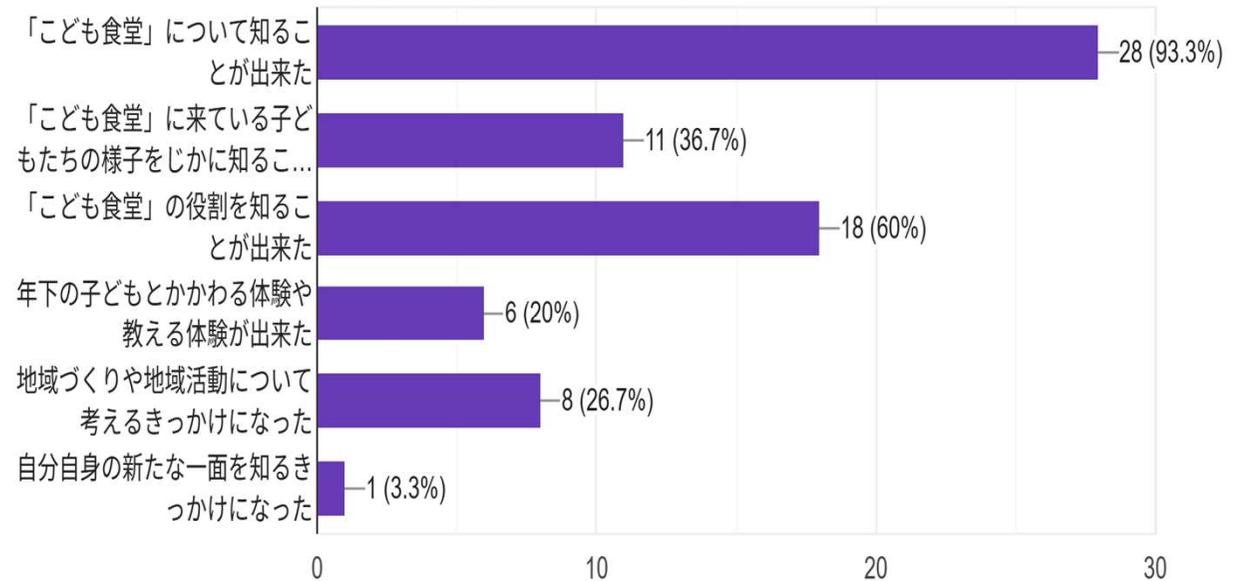
## 最終アンケート結果

2. 1の答えの理由を具体的に教えてください

子ども食堂に実際には参加していないけど楽しかった  
ピザを作れて、役にたてたから。  
ピザ作りで美味しいピザを作ることができたから  
ピザ作りが楽しかった  
プロジェクトを通してたくさんの方と交流ができ楽しかった  
少し勉強になったから  
自分で作ることができて楽しかった  
ピザを初めて作って、こんな作り方があるんだと思い面白かった  
子ども食堂について深く知ることができ、楽しむことができた  
子どもたちの雰囲気や困りが掴めた  
第三の居場所を理解できた  
みんなで作れることが楽しかった  
地域貢献をしたかった  
今までしたことのない体験だったから

## 最終アンケート結果

3. このプロジェクト全体を通して得たものについて教えてください。(複数回答可)



## 最終アンケート結果

4. あなたが小・中・高校のときに、どんな「こども食堂」があったら利用したかったと思いますか？

楽しい子ども食堂

名前も知らなかったので、もっと知るように

行きやすい場所にあったら利用するかも

気軽に行けるところ

誰でもいけるようなところ

美味しいものが安く食べられる食堂

家の近くで安くて美味しかったら利用していたかもしれない

無料でご飯を提供する 満腹になる食堂

ぜひ利用したいと思った

経験として行って見たかったとは思った。

ご飯を食べに行けるこども食堂

友達と行って見たかった 安くて美味しくてたくさん食べれる

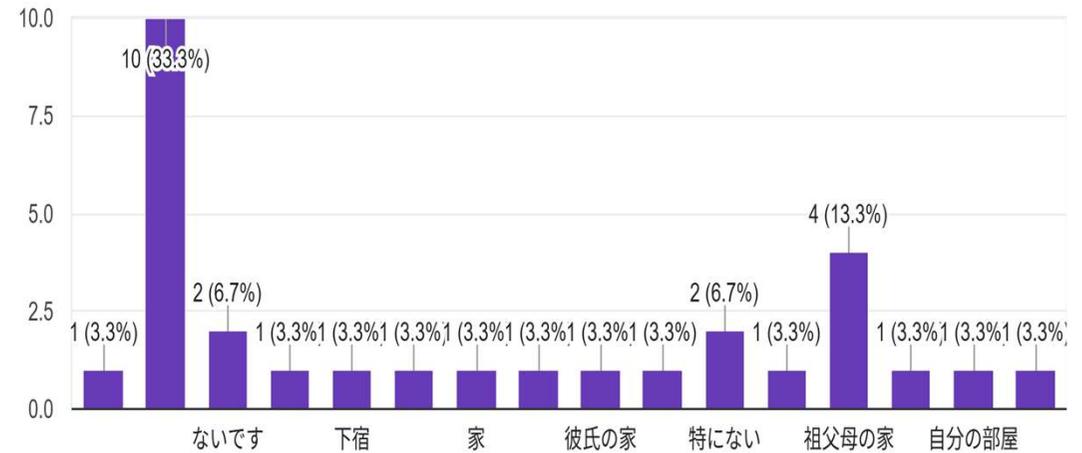
放課後に行くことができる距離にある

友達の家遊びに行く感覚で行けるこども食堂

地元にあってもう少し家感覚でいける

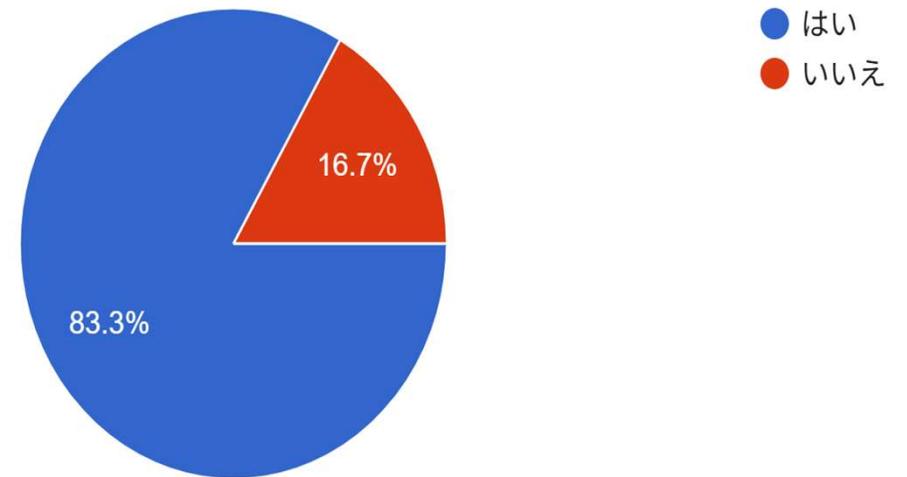
## 最終アンケート結果

5. あなたは「居場所」(学校でも家でもない落ち着く安心、安全な第3の居場所)はありますか？あれば、それはどこですか？



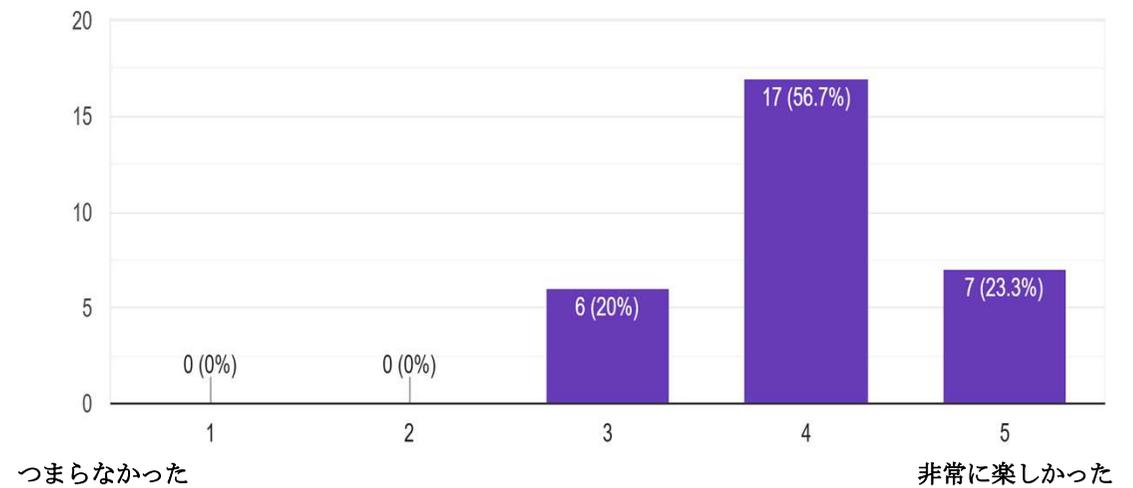
## 最終アンケート結果

6. 今後、地域づくりや地域活動に携わりたいと思いますか？



## 最終アンケート結果

1. 1. このプロジェクトに参加した感想を教えてください



ご清聴  
ありがとうございました

